

常德寺では、3月に次の法要を行います。檀信徒の皆さんのお詣りを
お願いします。

丹後大震災百遠忌法要

日時 令和8年3月7日（土）

午後4時開式

場所 常德寺

丹後大震災では、口大野区内で、52名の方が、震災後も震災
関連と思われる多く方がお亡くなりになっています。

本年は、百遠忌を迎えます。震災で犠牲になられた方のご冥福
を祈り供養するため、百遠忌法要を行います。

本堂に掲示してある法要戒名を見ると「〇〇童子」「〇〇童女」
と多くの小さいお子様のお名前があります。このような悲劇を繰
りかえさないために、日頃からの防災準備をおこない、命を守る
決意を新たにすることも重要な法要です。

ご遺族の方、多くの口大野区民の方のお詣りをお願いします。

春彼岸法要

日時 令和8年3月20日（祝・金）

午前10時30分開式

場所 常德寺

◎法要終了後、茶話会を行います。

お菓子とお茶・コーヒーを用意して
います。



丹後大地震

1927年（昭和2年）3月7日、18時27分39.2秒に発生しました。

震源は、丹後半島北部。マグニチュード7.3。

豊岡市、宮津市、峰山町で震度6を記録しています。

津波も三津3m、小浜2m、浜詰2mと推定されています。

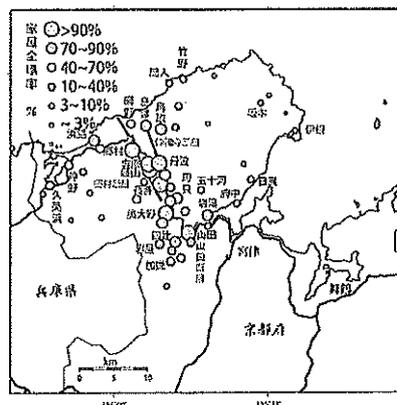
被害

最も被害が多かったのは、大宮町-峰山町-網野町の間を走る郷村断層、岩滝-野田川町を走る山田断層の二筋の断層に沿った地域で、あっという間に凄まじい衝撃が押し寄せ、上下左右に身体は揺さぶられてほとんどの建物が倒壊しました。直後の火災により、逃げるひまもないままに炎が人々を飲み込んで多くは生きたまま焼死したと考えられます。

被害の総計は、死者2,925人、負傷者7,806人、全壊1万2,584棟、半壊9,443戸、焼失8,287戸、全焼6,459戸、半焼96戸となりました。

地震前の積雪、地震翌日は夕方から氷のような冷たい雨が降り出し、暴風警報が出されています。

被災者は二重の苦しみを負うこととなりました。



都司嘉宣 昭和2年(1927)北丹後地震の町村別家屋全壊率

救護

地震発生から2日後の9日には、陸・海軍の救護班合わせて400名弱が救護活動に従事し、以降も、日本赤十字、各医科大学、周辺医師会、宗教関係など多くの団体が救護班を編成し、述べ32,146人が救護活動をしています。

全国から集まった救援物資の輸送などは、陸上、海上のルートを使って行われたが、3月というのに雪や雨が降ったことで道路はぬかるみ、思うように配給が進みませんでした。

救済募金も全国で行われ、予想を上回る約225万円が集まり、その後も海外からも義援金が届けられ、1年後には約440万円にもなりました。（今のお金にすると企業物価指数換算で約39億円）



引用及び参考：都司嘉宣「昭和2年(1927)京都府北丹後地震の被害と津波について」津波工学研究報告32(2015)、小林啓治「北丹後震災における京都府・陸海軍・諸団体の救護・救援活動に関する一考察」京都府立大学学術報告61(2009)、京丹後市教育委員会HP